

# 一般質問の行方



**通学路整備について**  
(平成27年12月議会)

## 質問事項

宮田沼橋信号機に歩行者用信号機の早期設置を。

## 町長答弁

渋川警察署に申請し、設置予定となっている。まちとしてもできるだけ早く設置してもらいたい。

## 処理事項

平成28年2月に設置完了。



歩行者用信号機が設置された宮田沼橋信号機

**障がい者支援の整備について**  
(平成27年9月議会)

## 質問事項

保健センター・文化センター前に障がい者などが使える駐車場を。

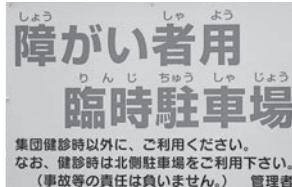
## 健康福祉課長答弁

保健センターは障がい者臨時駐車場を用意し、看板設置を検討中。

## 処理事項

保健センター前、平成27年11月設置完了。

障がい者用  
駐車場看板



保健センター前に設置された障がい者用駐車場

その後どうなった議会の声

# 委員会視察 レポート



全体研修

北海道大樹町

## 大樹町へ表敬訪問

議会では、5月16日から18日、友好都市協定を締結している大樹町を表敬訪問しました。

大樹町は、十勝平野の南端に位置し、人口5735人のまち。乳牛は、人口より多く約2万頭います。面積は、吉岡町の約40倍、815平方キロメートルです。

日高山脈の裾野に広がる雄大な景観に圧倒されました。

大樹町では、鈴木議長や酒森町長はじめ、多くの方々より、盛大な歓迎を受けました。

今回は、吉岡町子ども交流事業で、児童が見学している施設や、宿泊場所などを視察してきました。

雪印メグミルク(株)大

樹工場では、担当者から製造工程の説明を受けました。この工場では、毎日4百トの生乳を受け入れています。

工場内では、ロボットによる、「さけるチーズ」の包装ラインを見ることができました。

環境技術研究機構「メムメドウズ」では、牧地18畝の敷地に、自然光を透過する二重の膜材で屋根と壁を仕上げ、

冬場は地熱を利用した蓄熱式床暖房によって、膜の間に地熱を取り入れる実験住宅などが展示してありました。

これからの心豊かな住生活を実現するため、調査研究が行われていました。

大樹町宇宙交流セン

ターSORAでは、企画課長から説明を受けたのち、航空宇宙実験場を視察しました。

なぜ、大樹町で航空宇宙実験がされているのか。

大樹町は、晴天が多く、風が弱い。雷が少なく、太平洋側に約30キロも平坦な地形が続く恵まれた立地環境にあります。

また、行政、漁協住民をはじめ、地域で「宇宙の町づくり」に対する理解、協力、関心が非常に強いまちです。堀江貴文さんのロケット基地もあるとの説明がありました。

吉岡町との子ども交流事業では、開会式、海岸散策、農業見学体験、カヌー・カヤックなど、実際に活動を記録したビデオを視聴しました。

意見交換では、交流人員の増加要望をしましたが、宿泊施設などの関係で無理とのことがありました。

子どもたちが宿泊する晩成温泉は、海岸の近くにあり、ズボンを波で濡らす子もいたようです。カヌーの体験は、大変好評とのことでありました。

子どもたちを快く受け入れし、親身になっている、友好交流している様子が分かりました。

今後は、芸術、文化など幅広い分野の交流も盛んになり、郷土芸能などが、お互いの祭り会場で披露され、親善がさらに深まればと思っています。

(議長 岸 祐次)



大樹町役場を表敬